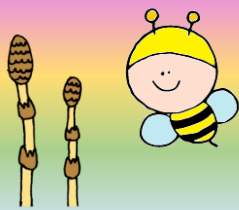
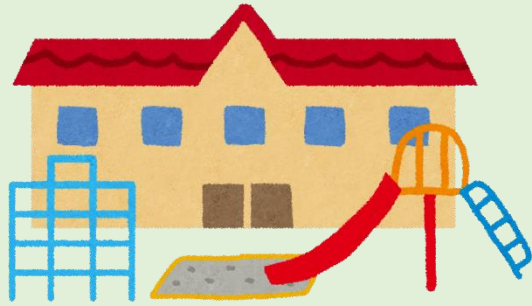


## 駐車場での交通事故防止

登園時や降園時に、子どもと手をつなぐず、自由に歩かせている保護者を見かけます。道路や駐車場は、公園のように安全な場所ではありません。車の死角にいた子どもがはねられてしまう交通事故が多く発生しています。駐車場で子どもが事故に遭わないよう、保護者がしっかりと手をつなぎ、車を発進させる前には周囲に人がいないかを確認しましょう。



## おうちのひとのための 交通安全新聞



### 運転は集中力と思いやり

年度末は慌ただしく、人も通常時に比べて集中力が散漫になり事故が多くなる傾向にあります。事故が増える原因の一つに、3月は花粉症が流行る季節で、花粉症治療薬の副作用などで頭がぼんやりとしてしまい、反応や動作が遅れがちなドライバーが多いことも考えられます。

※交通事故総合分析センターによると、福井県の正面衝突の死亡事故発生件数は、**全国ワースト2位**で全国平均の約3倍の多さになっています。

正面衝突事故は、対向車がセンターラインを越えて自車に突っ込んできたり、反対に自車が突っ込んだりして起こります。原因は、漫然運転や脇見運転が他県と比べて多いことが影響していると考えられます。

**時間と心に余裕を持ち、安全運転を心がけましょう**

